

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 2 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503981		
法人名	有限会社 楓		
事業所名	グループホーム楓		
所在地	広島県福山市加茂町下加茂1251-7		
自己評価作成日	令和5年2月6日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503981-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年2月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

毎年、方針発表会にて、社長方針に沿い、ホーム長方針が決定します。今期は、”きれいなホームに、その方らしい身だしなみで、暮らしていただきましょう”です。各職員は、この目標にあたり、目標を設定し、取り組みをおこなっています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

毎年、代表者が新年度の方針目標を設定し、それをもとにホームでの方針及び職員の目標を3つ掲げ、年2回の職員個々のチャレンジシートを活用し、振り返る事で日々実践している。看取りについて、看取りの経験から希望があれば看取りをする方針である。状態に応じて職員間で話し合いを重ね、心のこもった温かいケアを目指している。皮膚トラブルの軽減を図る目的で、昨年度から週2回の足浴を実施している。コロナ禍でもあり、少しでも楽しみを増やす取り組みで、毎朝の体操に加え午後からも取り入れる事で利用者の方に喜んでもらえるように支援をしている。比較的早い段階で外国人技能実習生の受け入れを行い、将来介護を担う人材を増やす取り組みをしている。職員同士が話しやすい雰囲気、それにより勤続年数の長い職員も多く、利用者、家族にとって安心に繋がるよう支援している。
--

自己評価	外部評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「グループホーム楓は利用者さまとご家族様そして地域の皆様との子々孫々のお付き合いを大切にします」という理念の下、その人らしい暮らしを目指しています。また、地域の皆様との交流をもつよう努めています。理念の提示も実施しています。	毎年、新年度の9月に代表者が年度目標、『今年度：ピカピカ大作戦』を設定し、毎年同グループで方針の発表会を行っている。職員の3つの目標を掲げ、職員個人は、『チャレンジシート』を活用し、年2回の振り返りを行い、ホーム長などからのアドバイスを受けることにより、日々実践することにより習慣化されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入っております。また、地藏盆や敬老会などの行事には入居者とともに参加しています。気候が良いときには日常的に散歩をし、近所の方とも挨拶をしております。	町内会に加入している。地域からの声があり、年2～3回の清掃活動に参加している。地藏盆や敬老会など地域行事に参加をしている。外国人技能実習生の受け入れ、近隣の中学校の職場体験学習の受け入れをしている。地域の方からの相談や困りごとなど、相談を受け付けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方からの認知症の人の相談や困ったことなど、いつでもお受けしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	責任者会議にて、今年は、新型コロナの影響にて会議を開かないようにする。	当会議は書面にて行い、会議は定期的な開催に至っていない。以前は、町内会長、家族代表、地域包括支援センター職員、福祉を高める会会長などの参加があり、家族の方が参加しやすいように、昼食を兼ねて家族会総会を実施している。以前のメンバーとの関りが少ない状況である。	コロナ禍でもあり、開催が難しい状況であるが、以前のメンバーとの関係性が途切れない工夫が必要と思われます。定期開催に加え、書面報告をする中で、意見や要望などを取り入れ、情報交換、意見交換の場となるよう、貴重な意見が活かされるよう努めることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	困った時、わからない時などは、日常的に市の介護保険課や地域包括支援センターに相談しています。	主に総ホーム長が利用者の状況により市担当者と連絡を取っている。事故報告書の提出、認定調査、申請関係など普段から連絡を密に取り、報告や情報交換など連携している。地域包括支援センター主催の研修会などはオンラインなどの環境面が整わないため、参加が難しい状況である。	

自己 評価	外部 評価	項 目(いちご1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作り、身体拘束について、研修を行い、意識を高め小さな変化も報告するようにしています。	年1回の研修、3ヶ月毎の委員会を開催している。必要時はニュースなどの情報を職員へ周知している。小さな変化や気になる事などを昼礼で話し合いをしている。防犯上、玄関の鍵は閉めているが、散歩へ出かけたいなどあれば個別対応で出掛け利用者に寄り添うことにより、拘束のないケアを日々実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	マニュアルを作り、高齢者虐待についての研修を行い、意識を高め小さな変化も報告するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料の回覧や、必要に応じて関係者と協力し、活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、ご家族様の思いや不安をお聞きし、質問や疑問にお答えし、安心してご利用頂けるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会総会や運営推進会議をはじめ、面会時での意見を伺うことができたが、新型コロナのため、電話にて、ご要望などを伺いました。	新型コロナウイルス感染状況に応じて、短時間の対面面会、2階の事務所内での面会など柔軟に対応をしている。家族へは担当職員からのコメントを送付したり、日頃の暮らしぶりを『楓だより』に載せて、利用者が穏やかに過ごす姿を伝えている。要望については、支援経過記録で情報共有し、早めに対応している。	

自己 評価	外部 評価	項 目(いちご1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼、昼礼にて、意見を聞く機会を設けています。	年2回のチャレンジシートを活用し、ホーム長などからのアドバイスを受ける体制がある。年1～2回のミーティングなど職員個々のストレスに感じている事を解消するように努めている。職員からの要望で休憩時に横になれるスペースを準備した経緯がある。代表者から感謝の気持ちを伝える永年勤続表彰制度がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	方針発表会にて勤続表彰を行っています。また、介護キャリアパス段位制度を導入し、職員のスキルアップが待遇に反映されるように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内の伝達研修や勉強会を通じて、知識や技術の向上を図っています。また、社外の研修資料を回覧し、参加できるように働きかけています。本年度は、新型コロナの影響でリモートの研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括センター主催の研修会などを通じて、横の繋がりを広めるように心がけていたが、新型コロナの影響で、交流が難しい状況です。		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人の希望や不安を伺い、入居までの準備万端を心がけています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	最初の見学時や申し込み時に十分聞き取るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	社内のケアマネージャーを中心に、地域包括センターや居宅ケアマネージャーの意見も伺い対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	洗濯物を干したり、たたんだり、花の水やりなどを職員と一緒にすることにより、日々の生活を共有しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様の状態の変化に合わせ、ご家族も交え支援の方法を話し合いご本人を支えるより良い方法を検討しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	会いたい人や、行ってみたい場所や家に帰りたい等の言動があった時等、ご家族の協力もいただいて可能な限りその思いに沿うようにしています。	利用開始前の見学、相談時、事前面接の情報、日頃からの関りで情報を得ている。本人から『便箋と切手を息子に頼んで欲しい』などあれば職員が対応している。食事摂取量が少ない状況から家族と相談し、一度家に帰って家族と一緒に食事をしたきっかけにより、今では食事が食べられるようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項 目 (いちご1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	必要に応じて、お客様同士のコミュニケーションが良くなる機会を作っています。例えば、席をかえたり、一階の方と2階の方の交流など。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	毎月の行事やお出かけ、集団レクリエーションを実施するとともに、リビングでのおしゃべりの時間を積極的に作っていくことで、お客様同士が仲良くなる機会を作っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族様から今までの暮らしぶりやご様子を何度も聞き取り、意向に務めています。	利用開始時の生活情報や日々の記録はサービス提供記録で共有している。職員が本人になったつもりで独自の様式『すっぽりシート』を活用し、本人の意向を把握している。例えば、スポーツが好きな方には雑誌を購入している。意思表示が難しい方は、日頃の関わり表情などで本人本位で物事を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人様・ご家族様から今までの暮らしぶりやご様子を何度も聞き取り、経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝のバイタル測定・表情等、いつもと違いはないか、本人様にも体調を伺い、異常があれば主治医に相談しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的にカンファレンスを行い、本人様になったつもりで「すっぽりシート」を活用し、本人様・家族様の意向を最大限に反映させたうえでの現状に即した介護計画を作成しています。	年2回のカンファレンス、独自の様式『すっぽりシート』を活用し、常に本人の立場、相手の立場になって物事を考えている。3カ月毎のモニタリングの実施、必要時は、医師や薬剤師などの助言を頂き、今迄の生活習慣が維持・継続できるように具体的な介護計画を作成及び実施をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や気付き・体調の変化等を記録し、申し送り・朝礼・昼礼を通じて情報を共有しています。その記録をもとに必要なに応じてカンファレンスを行い、ケアの見直しにつなげています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人様・家族様の要望に沿えるよう現場の意見や社内のケアマネジャーの相談しながらホーム長の指示のもと個別の対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近所の方や民生委員、地区の方等に見守りをご協力いただき、何かあった時は連絡くださるようお願いしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	診察にスタッフが立ち会うことにより、本人様とかかりつけ医との橋渡しをし、納得が得られる医療をお受けするお手伝いをしています。	基本的にはかかりつけ医は自由であるが、週2回の往診体制や緊急時の連絡体制の事もあり、全員の方がホームの協力医となっている。医師と薬剤師と一緒にユニット毎、隔週に往診があり、薬の副作用など相談出来る。同グループに看護師を配置しており、相談やアドバイスが受けられる体制がある。	

自己 評価	外部 評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	連携医療機関をはじめ、ご本人様の主治医に相談しながら対応しています。また、毎週木曜日に提携の訪問看護の看護師が経過観察し、状態を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は普段のご様子を情報提供し、治療に活かしていただいています。また、病院・家族・かかりつけ医とも密に連絡をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期については、かかりつけ医も交えて話し合いを繰り返すことによって、本人様・ご家族様の思いを確認し、ケアの方針を決めています。	看取りの経験から、希望があれば看取りはする方針である。利用開始時に『終末期についての事前確認書及び重度化した場合に対応に係る指針』にて意向を確認している。終末期となれば、主治医や家族との話し合いを重ねている。簡易ベッドを用意しており、希望があれば家族も寝泊まりを可能としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを作成し、それを元に対応しています。また、緊急時に慌てないように電話近くにマニュアルを掲示しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、避難訓練を実施しています。指導いただいた内容はスタッフ間で共有しています。	運営推進会議で話し合いをしており、以前は、訓練時に近隣住民の参加で訓練を実施していた。非常災害時のマニュアルを整備している。消火訓練の実施、秋の訓練には利用者参加で訓練を実施している。同グループの協力体制や災害に備えて、災害用品など3日分を事業所として準備している。	

自己評価	外部評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的な社内研修において接遇・言葉かけの教育に努めています。 また、事業所内にコンプライアンスルールを掲示しています。	入社時に『コンプライアンスルール』を説明している。接遇研修を行い、言葉掛けの教育を行っている。以前の生活状況や日頃の関りから本人が不快にならないように、例えば、利用者に対して後ろから声掛けをしない、「～しませんか」など本人に尋ねるように相手の立場で考え、その人に合った言葉掛けとしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の思いや希望を言っていただきやすい雰囲気作りと環境作り、声かけを実施し、本人様がどうしたいかを確認しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフの都合を優先するのではなく、本人様の思いや希望をお聞きし、理解したうえで行動するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な方には、着替えの服をご本人様に選んでいただいています。理容師に希望する髪型を相談できるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	じゃがいもや玉ねぎの皮むき・食器やお盆拭き等、お一人お一人に合わせて一緒に取り組んでいます。	同グループに食事担当者を配置し、調理された具材が届いている。毎週土曜日はパンの日、毎月1日は赤飯の日、うどんの日など設けている。時に弁当屋や回転寿司の持ち帰りで食べる楽しみに繋がる取り組みをしている。利用者も個々の能力に応じて、下準備、片付けなどしている。	

自己評価	外部評価	項 目（ いちご1階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	かかりつけ医とも相談し、一人ひとりに 合わせたメニューや盛り付けで食事を提 供し、必要に応じて食事量・水分量を記 録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	ご自分で出来る方は見守りをし、足りな いところはスタッフでお手伝いをしてい ます。必要に応じて訪問歯科を利用して います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	安易におむつに頼らず、できるだけトイレ での排泄を心がけています。 トイレでの介助法も、本人様の持つ力を 最大限に引き出す介助法を行っています。	トイレは3カ所あり、その内2カ所は男性 用トイレを設置している。2～3時間の間 隔での声掛け、誘導を行い、必要時は ポータブルトイレの設置、個々の状態に 応じて一人介助、二人介助で対応してい る。病院退院後は紙おむつの方も、なる べく以前のリハビリパンツへ移行出来る ようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘に効果のあるスッカリ体操やお腹の マッサージ等を行っています。また、散 歩などもして頂いたりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	曜日は基本的に決めています、状況に 応じて希望に沿った時間に入浴してい ただけるように対応しています。	週2回の入浴をしている。ヒートショッ ク予防として、暖房機を設置している。 季節に応じて、ゆず湯・菖蒲湯をしてい る。本人から『湯船に浸かりたい』希望 が有れば、本人の状態に合わせた支援を する事により実現できた事例がある。今 年度から週2回の足浴を始め皮膚トラブ ルの軽減に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(いちご1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝・起床時間はご本人様の体 調や希望・昼寝も含めてご自由 に選んでいただいています。お休 み中の室温・湿度にも気を配っ ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬情報をファイルにとじ、いつ でも確認ができるようにすると ともに、薬の変更があった場合 には、朝礼等を通じてスタッフ に説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	調理や食器拭き、洗濯物たたみ やお花の水やり等をスタッフと 行ったり、お出かけやカラオケ 等日々の暮らしの中にアクセ ントをつけるようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	ウッドデッキでの日光浴やホー ムの周りを散歩したり、外の空 気が吸える支援ができるよう に努めています。	コロナ禍でもあり、外出は自 粛傾向であるが、1回のリビング から直接出入りできるウッドデ ッキでの日光浴、事業所周辺 の散歩コース、近くの地藏盆 にお参りなど行っている。感 染対策を行い、車いす専用の 公用車を使って春のお花見、 神社のお参りなど個別対応で 外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。	本人様が、お金を持ちたい気持 ちを尊重し、必要に応じて所持 していただいております。		

自己 評価	外部 評価	項 目(いちご1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご要望があれば応じられるよう体制を整えます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には季節に応じた花を飾り、ホールには写真やお客様の作品を展示しています。	壁面には季節の飾り付けと年間実施した内容の写真を掲示している。ソファ、和室、テーブルの位置など工夫が見られ、明るく広い共有空間である。1階のリビングからは、直接出入りできるウッドデッキがある。今年度の目標『ピカピカ大作成』により、普段掃除が出来ていない箇所など清掃している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングでお好きな席に座っていただいたり、ソファや和室、ウッドデッキ等で思い思いに過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の使い慣れたものを持ってきていただいています。一人ひとりの居室にそれぞれの個性が表れています。必要に応じて、スタッフと本人様とで好きなものを買に行っています。	利用開始時の生活情報、本人の身体機能、使い勝手が悪い場合などは、その都度、ベッドの位置などレイアウトを変更している。衣類が取り出しやすいように洗濯後の衣類は奥側から収納するように徹底している。安心して過ごせる場所となるよう本人や家族と相談しながら快適な居住空間づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	それぞれの居室の入り口には、名前を書いたプレートをつけています。		

V アウトカム項目(いちご 1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「グループホーム楓は利用者さまとご家族様そして地域の皆様との子々孫々のお付き合いを大切にします」という理念の下、その人らしい暮らしを目指しています。また、地域の皆様との交流をもつよう努めています。理念の提示も実施しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入っております。また、地藏盆や敬老会などの行事には入居者とともに参加しています。気候が良いときには日常的に散歩をし、近所の方とも挨拶をしております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方からの認知症の人の相談や困ったことなど、いつでもお受けしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	責任者会議にて、今年は、新型コロナの影響にて会議を開かないようにする。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	困った時、わからない時などは、日常的に市の介護保険課や地域包括支援センターに相談しています。		

自己評価	外部評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作り、身体拘束について、研修を行い、意識を高め小さな変化も報告するようにしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	マニュアルを作り、高齢者虐待についての研修を行い、意識を高め小さな変化も報告するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料の回覧や、必要に応じて関係者と協力し、活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、ご家族様の思いや不安をお聞きし、質問や疑問にお答えし、安心してご利用頂けるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会総会や運営推進会議をはじめ、面会時での意見を伺うことができたが、新型コロナのため、電話にて、ご要望などを伺いました。		

自己評価	外部評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼、昼礼にて、意見を聞く機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	方針発表会にて勤続表彰を行っています。また、介護キャリアパス段位制度を導入し、職員のスキルアップが待遇に反映されるように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内の伝達研修や勉強会を通じて、知識や技術の向上を図っています。また、社外の研修資料を回覧し、参加できるように働きかけています。本年度は、新型コロナの影響でリモートの研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括センター主催の研修会などを通じて、横の繋がりを広めるように心がけていたが、新型コロナの影響で、交流が難しい状況です。		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人の希望や不安を伺い、入居までの準備万端を心がけています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	最初の見学時や申し込み時に十分聞き取るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	社内のケアマネージャーを中心に、地域包括センターや居宅ケアマネージャーの意見も伺い対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	洗濯物を干したり、たたんだり、花の水やりなどを職員と一緒にすることにより、日々の生活を共有しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様の状態の変化に合わせ、ご家族も交え支援の方法を話し合いご本人を支えるより良い方法を検討しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	会いたい人や、行ってみたい場所や家に帰りたい等の言動があった時等、ご家族の協力もいただいて可能な限りその思いに沿うようにしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	必要に応じて、お客様同士のコミュニケーションが良くなる機会を作っています。例えば、席をかえたり、一階の方と2階の方の交流など。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	毎月の行事やお出かけ、集団レクリエーションを実施するとともに、リビングでのおしゃべりの時間を積極的に作っていくことで、お客様同士が仲良くなる機会を作っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族様から今までの暮らしぶりや様子を何度も聞き取り、意向に務めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人様・ご家族様から今までの暮らしぶりや様子を何度も聞き取り、経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝のバイタル測定・表情等、いつもと違いはないか、本人様にも体調を伺い、異常があれば主治医に相談しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的にカンファレンスを行い、本人様になったつもりで「すっぽりシート」を活用し、本人様・家族様の意向を最大限に反映させたいという現状に即した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や気付き・体調の変化等を記録し、申し送り・朝礼・昼礼を通じて情報を共有しています。 その記録をもとに必要なに応じてカンファレンスを行い、ケアの見直しにつなげています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれのニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人様・家族様の要望に沿えるよう現場の意見や社内のケアマネージャーの相談しながらホーム長の指示のもと個別の対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近所の方や民生委員、地区の方等に見守りをご協力いただき、何かあった時は連絡くださるようお願いしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	診察にスタッフが立ち会うことにより、本人様とかかりつけ医との橋渡しをし、納得が得られる医療をお受けするお手伝いをしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	連携医療機関をはじめ、ご本人様の主治医に相談しながら対応しています。また、毎週木曜日に提携の訪問看護の看護師が経過観察し、状態を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は普段のご様子を情報提供し、治療に活かしていただいています。また、病院・家族・かかりつけ医とも密に連絡をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期については、かかりつけ医も交えて話し合いを繰り返すことによって、本人様・ご家族様の思いを確認し、ケアの方針を決めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを作成し、それを元に対応しています。また、緊急時に慌てないように電話近くにマニュアルを掲示しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、避難訓練を実施しています。指導いただいた内容はスタッフ間で共有しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的な社内研修において接遇・言葉かけの教育に努めています。 また、事業所内にコンプライアンスルールを掲示しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の思いや希望を言っていただきやすい雰囲気作りと環境作り、声かけを実施し、本人様がどうしたいかを確認しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフの都合を優先するのではなく、本人様の思いや希望をお聞きし、理解したうえで行動するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な方には、着替えの服をご本人様に選んでいただいています。理容師に希望する髪型を相談できるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	じゃがいもや玉ねぎの皮むき・食器やお盆拭き等、お一人お一人に合わせて一緒に取り組んでいます。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (りんご 2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	かかりつけ医とも相談し、一人ひとりに 合わせたメニューや盛り付けで食事を提 供し、必要に応じて食事量・水分量を記 録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	ご自分で出来る方は見守りをし、足りな いところはスタッフでお手伝いをしてい ます。必要に応じて訪問歯科を利用して います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	安易におむつに頼らず、できるだけトイレ での排泄を心がけています。 トイレでの介助法も、本人様の持つ力を 最大限に引き出す介助法を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘に効果のあるスッカリ体操やお腹の マッサージ等を行っています。また、散 歩などもして頂いたりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	曜日は基本的に決めています、状況に 応じて希望に沿った時間に入浴してい ただけるように対応しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝・起床時間はご本人様の体 調や希望・昼寝も含めてご自由 に選んでいただいています。お休 み中の室温・湿度にも気を配っ ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	薬情報をファイルにとじ、いつ でも確認ができるようにすると ともに、薬の変更があった場合 には、朝礼等を通じてスタッフに 説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	調理や食器拭き、洗濯物たたみ やお花の水やり等をスタッフと 行ったり、お出かけやカラオケ 等日々の暮らしの中にアクセ ントをつけるようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	ウッドデッキでの日光浴やホー ムの周りを散歩したり、外の空 気が吸える支援ができるよう に努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	本人様が、お金を持ちたい気持 ちを尊重し、必要に応じて所持 していただいております。		

自己評価	外部評価	項 目（ りんご 2階 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご要望があれば応じられるよう体制を整えます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には季節に応じた花を飾り、ホールには写真やお客様の作品を展示しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングでお好きな席に座っていただいたり、ソファや和室、ウッドデッキ等で思い思いに過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の使い慣れたものを持ってきていただいています。 一人ひとりの居室にそれぞれの個性が表れています。 必要に応じて、スタッフと本人様とで好きなものを買に行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	それぞれの居室の入り口には、名前を書いたプレートをつけています。		

V アウトカム項目(りんご 2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム楓

作成日 令和5年4月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点，課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	定期的な運営推進会議の開催に至っていない。	運営推進会議の開催。	5月に開催。今後2か月に一回の定期開催の予定。	2か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には，自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は，行を追加すること。